

3. 良好な景観形成を図る上での現状の課題例

○中心市街地における空き家・空き店舗の増加

山間部の集落や中心市街地では空き家や空き店舗が増加しており、放置され荒廃が進む家屋や町並みの活気を損なう空き店舗の存在が良好な景観形成を図る上での課題となっています。



○市街地郊外部における無秩序な宅地化の進行（スプロール化）

一部の市街地郊外部では、農耕地に無秩序に住宅等が建てられている状況が見られ、土地利用の適切な規制・誘導が課題となっています。



○沿道における看板類の乱立

国道等の幹線道路の沿線に、規模が大きく景観的に目立つ看板類が乱立している区間が見られ、沿道景観に煩雑な印象を与えています。



○高原地における無秩序な別荘地開発（狭小区画の別荘地開発）

高原地において、狭小区画の別荘地が無秩序に開発されている現状が見られます。



○耕作放棄地の増加

耕作放棄地が増加し、農山村の景観に荒廃した寂しい印象を与えています。



○農地における土石や廃棄物等の堆積

耕作放棄地等の目立つところに土石や廃棄物の堆積が行われている場所も見られ、景観的に煩雑な印象となっています。

